

浜松・龍山の民話集披露

静岡文化芸術大生、市役所訪問

浜松市天竜区龍山町「話」を贈った。

で住民への昔話採録調査に取り組んだ静岡文化芸術大(中区)の学生らが2日、市役所に鈴木康友市長を訪ね、成果をまとめて出版した書籍「たつやまの民

話」を贈った。訪れたのは文化政策学部で伝承文学を専攻する二本松康宏教授ゼミの6人。昨年5月から今年1月にかけて30回以上龍山町を訪れ、昔話や伝説の調査を行った。約60人の住民か

ら聞き取った82話を方言や語り口調を交えずに収録した。

玉置明子さん(21)は「文化を大切にするのが目標。話を読んだ人がまた誰かに伝えてくれれば」と思いを語った。鈴木市長は「調べるといろいろな話が出てくる。いい経験になったはず」とねぎらった。



調査の成果をまとめた書籍を鈴木市長(中央)に贈った学生=2日、浜松市役所